



としょかんだより 2月号

No. 85 平成27(2015)年2/1発行
長崎市立図書館

にじゅうしせっき しちじゅうにこう 二十四節気・七十二候



季節は1年で最も寒い時期と言われている大寒を経て立春へと移り変わってきました。

四季の移ろいを感じやすい日本には、気候を表す言葉が様々あります。立春や春分などは昼夜の長短を基準にした季節区分(夏至・秋分・冬至/立夏・立秋・立冬)で、その他、気温(小暑・大暑・処暑・小寒・大寒)や気象(雨水・白露・寒露・霜降・小雪・大雪)、物候(啓蟄・清明・小満)、農事(穀雨・芒種)などのように季節の名称がつけられています。これらは1年間を24等分し15日ごとに分けて24の期間を表した二十四節気と呼ばれるもので、元々は中国の気候を元に名づけられおり、日本の気候とは合わない名称や時期もあるようです。それをさらに約5日ずつの3つに分けたものを七十二候と言い、気象、動物、植物の変化を知らせるような短文になっています。二十四節気は中国で考案されたものがそのまま現在でも使われていますが、七十二候は日本の気候風土に合うよう改訂されています。

二十四節気比べてなじみの薄い七十二候ですが、この時期の季節を表す七十二候のひとつに「魚上氷(うおこおりにのぼる)」というものがあります。これは、冬に凍りついた水辺の水もだんだんと薄くなり、それまで水底に隠れていた魚が水面まで上がってくる様子を表しています。

また、今の季節に吹く風で春一番という言葉があります。この言葉は1859年、長崎県五島沖に漁に出ている壱岐の漁船が強い南風を受けて沈没して以降、春先に吹くこの突風を漁師たちが春一番と呼び恐れていたのが始まりとされています。

忙しい日々の中であつという間に過ぎてしまう1年。自然に気持ちを傾け、季節の移ろいを感じながら毎日を過ごしてみませんか。



『福を招く食と暮らしの七十二候』

石倉 ヒロユキ/著
幻冬舎エデュケーション
2階一般 449.3 イ



『二十四節気の暮らしを味わう』

日本の伝統野菜』

木村 正典/著 naggy/イラスト
G. B.
K626 キ



『二十四節気と七十二候の 季節手帖』

山下 景子/著
成美堂出版
2階一般 449.3 ヤ



『絵本ごよみ二十四節気と 七十二候』

坂東 眞理子/監修
教育画劇
児童 449 エ



<図書館カレンダー>

※毎週火曜日は休館日です。

※開館時間 10:00~20:00



2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

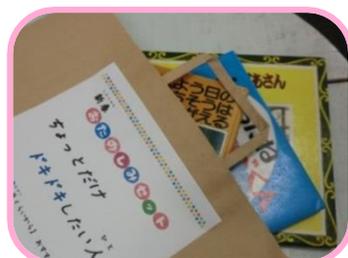
3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

新春おみくじ&新春おたのしみセットを実施しました

1月5日(月)から、新春おたのしみセットの貸出を行いました。スタッフがテーマを決めて本を3冊選び、福袋と同じく中身が見えないように封をしました。何の本が入っているのかは、開けてからの楽しみ。「香りで癒される」、「宇宙を身近に感じる」など、さまざまなテーマで大人用と子ども用を合わせて70袋を用意しました。初めての企画にも関わらず、開館と同時にたくさんの方が袋を選んで下さり、大盛況でした。借りて頂いた方への小さなプレゼントとして、ストラップにできる豆本も入っていました。

また、新春おみくじも実施しました。大吉などの運勢と共に、開運本も紹介しました。この機会に普段ご自分では手に取らない本との出会いをお楽しみ頂けたのではないのでしょうか。また来年も実施しますので、お楽しみに！

新春おたのしみセット



新春おみくじ



【コーナー紹介】市民活動情報コーナー

みなさんは「市民活動」という言葉をご存知ですか？長崎市の学識者や市民団体代表によってまとめられた「市民力向上検討会議報告書（市民力向上検討会議、2008.）」では、市民活動を「市民が自らの価値観、信念、関心等に基づいて、自分たちの生活やコミュニティへの貢献、及び、地域課題に対応するため、自発的に行う活動」として定義しています。ボランティアやNPO活動等の多くも市民活動に含まれます。

長崎市立図書館では、2階データベース用パソコン横の壁面の棚に【市民活動情報コーナー】を設置しています。このコーナーは、市民活動に関わる様々な情報を収集・発信することで長崎市や地域、身近な人が抱える課題に気づききっかけや、その解決のためのヒントとなることを目指して設置しました。“NPOって何？”“地域のために何かやってみたい”などのヒントとなるような本、また「長崎市市民活動センター・ランタナ」等関連機関のパンフレットも置いてありますので、ぜひ一度お立ち寄り下さい！



ブック・バトン

毎月2名の図書館員がおすすめの本を紹介します。



雪と出会い

暦の上では春と言っても、まだまだ厳しい寒さが身にしみる日々が続く2月。つい外に出るのも億劫になるという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。しかし、そんな寒い日にこそ出会えるとおきの光景があります。水たまりに張った透き通った氷、田んぼや畑にできた霜柱、そして、一面の雪景色。『雪の手紙』では、ターバンのような「冠雪」、恐竜そっくりの「樹氷」など、氷や雪が自然の中で作り出したいろいろな作品が楽しめる一冊です。

場所や気候によって、姿かたちを変え地球をめぐる「水」。そのひとつのかたちである「雪」が登場する物語はたくさん存在します。そのひとつが、『雪のひとひら』です。ある朝、雲の中から生まれ原っぱに舞い降りた「雪のひとひら」は、春の訪れとともに一粒の水になり、川を流れていきます。やがてパートナー「雨のしずく」と出会った「雪のひとひら」は、子どもたちにも恵まれ、時には命の危険に遭いながら少しずつ旅を進めていきます。誕生、成長、出会いと別れ・・・ひとひらの雪を通して、女性の一生を描いた美しいファンタジー形式の物語です。

目にも心にも楽しい「雪」を、春が来る前にぜひ味わってみてください。

(司書：大内 絵美子)



『雪の手紙』
片平 孝/写真 文 構成
青葙社
451.6/カ



『雪のひとひら』
ポール・ギャリコ/著
矢川 澄子/訳
新潮社
M933.7ギ

雪が降ると・・・

“雪という字は【雪ぐ】とも読み、^{ほら}拭き清めるという意味だ。雑多な色をすべて真っ白に隠してしまう様子は、まさに世界を清めたかのようだ。”これは、「ホワイト・ステップ」の主人公の言葉です。その町に雪が積もったことで、決して出会うことのない人々が交錯します。『箱庭図書館』は読者が投稿したボツ原稿を乙一がリメイクするという一風変わった短編集で「ホワイト・ステップ」は6番目の小説です。一つ一つの物語に連続性はないので、どこから読んでもかまわないのですが、所々に隠し味が効いているので、是非はじめから読んでみて下さい。

次は『雪の夜話』^{よばなし}。高校時代、僕は夜の公園で不思議な少女と出会います。その後、大人になった僕が帰郷すると、雪の夜に昔と変わらない姿のその少女と再会します。少女は一体何者でしょうか。札幌出身の浅倉卓弥が描く雪の光景はとても美しく、南に住む私たちにとってはまるで異世界です。そんな雪の世界で展開される現代のおとぎ話を楽しんでみてはいかがでしょうか。

(司書：杉本 祐子)



『箱庭図書館』
乙一/著
集英社
F913.6 オツ



『雪の夜話』
浅倉 卓弥/著
中央公論新社
B913.6 アサ

寄贈紹介「長崎天領ライオンズクラブ児童文庫」



長崎天領ライオンズクラブは、多様化する人間社会の中、青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり、社会づくりに貢献したいという趣旨でチャリティーコンサートを開催し、その収益金で平成15年に文庫を創立されました。

その後も寄贈を続けられ、今回は、長崎くんち出店の収益金の一部で、36冊(5万円相当)の図書を寄贈されました。これまでにいただいた図書は632冊(76万円相当)になります。

寄贈紹介「第一生命児童文庫」



第一生命労働組合長崎支部は、青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり社会づくりに貢献したいという趣旨で、昭和63年に年末募金を活用して179冊(20万円相当)の児童図書により、第一生命児童文庫を設置されました。

その後も寄贈を続けられ、今年度も98冊(20万円相当)を寄贈されました。これまでにいただいた図書は3,925冊(540万円相当)になります。

図書貸出券には有効期限があります

- ・登録された日以降の誕生日から3年2ヶ月後に期限が切れます。期限が切れた貸出券も、更新手続きをすれば引き続きご利用いただけます。
- ・有効期限の6ヶ月前から、貸出時に発行するレシートに有効期限を記載いたします。また、有効期限の2ヶ月前から、カウンターで更新のご案内をいたします。
- ・更新手続きは誕生日から有効期限までの2ヶ月間に行ってください。
- ・更新手続きには申請書の記入と、住所・生年月日が確認できるもの(免許証や保険証など)の提示をお願いいたします。(小学生以下の方は申請書の記入のみ)
- ・有効期限が切れた図書貸出券は利用停止となり、貸出・予約ができなくなりますのでご注意ください。

予約ランキング

※ 予約が集中している本は数ヶ月お待たせすることがあります。予めご了承ください。

順位	タイトル	著者名	出版社	予約数	順位	タイトル	著者名	出版社	予約数
1	虚ろな十字架	東野 圭吾	光文社	262	6	アイネクライネナハトムジーク	伊坂 幸太郎	幻冬舎	169
2	マスカレード・イブ	東野 圭吾	集英社	248	7	明日の子供たち	有川 浩	幻冬舎	168
3	銀翼のイカロス	池井戸 潤	ダイヤモンド社	232	8	キャロリング	有川 浩	幻冬舎	153
4	満願	米澤 穂信	新潮社	186	9	物語のおわり	湊 かなえ	朝日新聞出版	149
5	村上海賊の娘(上巻)	和田 竜	新潮社	177	10	ペテロの葬列	宮部 みゆき	集英社	146

(2015年1月15日現在)